



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№31

令和5年3月2日

6年生を送る会 ～感謝をこめて～



入場



1, 2年生



3年生



4年生

2月24日(金)2.3限に、6年生を送る会を開催しました。この2年間、体育館に入る人数を減らし時間を短縮して行っていたのですが、今年度は、感染症対策をしながら全学年の児童が体育館に入り各学年から発表をしました。以前に近い形で実施であり、子どもたちも練習に時間をかけ、みんなが一生懸命取り組み、心温まる送る会をつくり上げることができました。特に5年生は、6年生に感謝の気持ちを伝えるために、計画から準備、運営を立派にやり遂げてくれました。

1, 2年生は合同で呼びかけや合唱、演奏を行いました。3年生は、6年間の思い出を寸劇にして楽しく演じてくれました。4年生は、6年生がお世話になった担任の先生や5, 6年生で取り組んだ行事に関するクイズを出題してくれました。どの発表もしっかり練習の成果が見られ、工夫を凝らした、心がこ

もったすばらしい発表でした。

お礼に6年生から、合唱と感謝の言葉、ぞうきんのプレゼントがありました。キャンドルセレモニーでは、5年生が6年生から「協力の火」、「絆の火」、「責任の火」をしっかりと受け継ぎ、若松小学校をさらによくしていくことを誓いました。そして、6年生が、5年生が花のアーチでつくった道を通って退場していきました。6年生の皆さんありがとう。中学校へ行ってがんばってください。



5年生



6年生



キャンドルセレモニー



退場

第6回学校運営協議会を実施しました

2月27日(月), 第6回学校運営協議会を開催しました。学校関係者評価の結果をもとに、令和4年度の総括、令和5年度に向けて話し合いを行いました。主な内容は次のとおりです。

- ◇あいさつについて、来校時や青色パトロールで校区内を巡回しているときに子どもたちがよくあいさつをしてくれる。さわやかで気持ちが良い。一方で、3年間朝の登校指導をしてきたが、他の小学校や中学校の子どもたちが大きな声であいさつする姿を目にするので若松小も大きな声であいさつできるようにいっそう取組をすすめてほしい。
 - ◇長年、学校運営協議会委員をしているが、以前より学力や体力が向上している様子が見えてくる。地域で、子どもが主体的に動けるように企画してくれて、それが子どもに大きくプラスに働いている。鈴鹿市の子どもは、自己肯定感が低いと言われているが、若松小にも同じ傾向であり、少しでも自己肯定感が高まるような学年や学級を取組をすすめてほしい。また、スクリーンタイムの時間が長い状況については、スマートホンなどの機器の使用制限を呼びかけるだけでなく、発想を転換して、睡眠時間を十分にとる「睡眠教育」に取り組み、睡眠時間を増やすことで結果的にスクリーンタイムを減らしていくことを考えてはどうか。
 - ◇地域のスポーツ行事を今年度は100%実施した。子どもたちが参加して主体的に活動してくれるとその行事が盛況になるので今後もぜひ参加してほしい。また、若松地区はこれまでの取組の実績や雰囲気づくりがなされていて親子での参加率が高い。
 - ◇学校運営協議会に参加して、地域の方々がとても熱心に子どもたちに関わってくれて、それが子どもたちの成長につながっていることがよくわかった。
- <地域コーディネーターより>
- ☆「学校運営協議会だより」に今年度の取組を掲載して発行した。
 - ☆今後も地域行事に参加する子どもたちが、主体的に活動できる機会をそれぞれの行事の中にあるだけ設定していく。

3年出前授業「昔の暮らしとエネルギー」



2月28日(火), 図工室で3, 4限に3-1, 5, 6限に3-2が三重県地球温暖化防止活動推進センターの落合さん, 吉田さんを招いて「昔の暮らしとエネルギー」について学習しました。今の生活は電気製品があふれ、とても便利になっていますが、70年ほど前はどのような生活だったのか考えました。昔の道具をみせていただきましたが、初めて見たものも多く、興味をもって手にしていました。今が、いかに便利な時代であることを理解するとともに、石油, 電気, ガスなどのエネルギーに依存する生活であることを学びました。今後、エネルギーとのかかわりをどうしていくか考える時間となりました。

